

# 数々修習

vol.01

平成28年初夏

創刊号

- 発刊のご挨拶
- 五月大祭のお知らせ
- 菩提樹苑から
- たなばたコンサートのお知らせ
- 四月の月例護摩祈願のご報告
- 出産のご報告
- 春の彼岸法要のご報告

## 数々修習とは？

道を求める事、つまり見道・求道を繰り返し繰り返し反復するという意味です。私住職もこのお便りと一緒に熟していければと思っています。

## 発刊のご挨拶

このたびの震災におきまして  
謹んでお見舞い申し上げます



第二十住職 藏本崇正

## 四

月十四日(木)、十六日(土)に起こりました「熊本地震」にて被災された方に、謹んでお見舞い申し上げます。本蔵院では、堂内の仏像、仏具、書棚等はほぼ全壊したものの、本堂建物の倒壊はありません。ご本尊様だけはと厨子より持ち出し、避難していただきました。位牌室内の弘法大師像は、まったく動かさず無事に安坐しておられます。あらためてご本尊様にお守りいただいたことを実感しています。



地震後の本蔵院。書棚等はほぼ全壊

また、菩提樹苑につきましても、多少の倒壊はあるものの、土砂被害などの大きな被害はございませんでした。今後は個別に対応してまいりますので、どうぞ安心ください。

さて、地震が発生する前から、本蔵院の「いま」をお伝えする広報誌「数々修習(ささきしゅうじゆ)」の発行の準備を進めておりました。この地震を受け、発行を遅らせることも考えましたが、今だからこそお伝えできることもあると、発行を決意いたしました。

過去を越れば、本蔵院ではその時代の住職ごとに、さまざまな刊行物を発行してきた歴史がございます。十七世の晋良法印による「刀の泉」(先代の十九世、律良僧正による「不動の光」と長く発行を続け、皆様に布教しておられました。いずれも本蔵院が皆様のお心に寄り添えるよう、より近い存在となりたいという思いを込めた発行でした。今回の「数々修習」でもその思いは変わりません。

今、少しずつですが、お寺の復旧に努めているところで。皆様が以前と変わらずお参りにきてくださることが何よりの復興でございます。このような時こそ信仰の心を忘れず、心静かにお参りいたしましょう。

第二十住職 藏本崇正 合掌

## NEWS 01 本蔵院からのお知らせ

### 4月の月例護摩祈願を無事行うことができました

4月28日(木)、震災後も無事に皆さんとお護摩を勤める事ができました。本当に大変な時にたくさんの方がお参りに来てくださいました。一緒にお勤めができることの有り難さを噛み締めました。熊本がんばろう!!



4月28日 檀信徒の皆様と

## NEWS 02 次女「真緒」誕生のお知らせ

以前から大きなお腹で動き回っていた坊守の牧子が、震災の最中、4月17日(日)に元気な女の子を出産いたしました。名前は「真緒」といたしました。弘法大師空海の幼少名「真魚(まお)」から音をもらい、「緒」の字を使いました。緒には魂をつなぐもの、命そのものという意味があります。命をつなぎ、真実をたぐり寄せる人生を送ってほしいという願いを込めています。真緒も長女の紗和と同様、温かく、時には厳しく見守っていただければと思います。



お姉ちゃんになりました!

## NEWS 03 春の彼岸法要が盛大に行われました

3月20日(日・祝)、本蔵院にて春のお彼岸法要が開催されました。法要に先立ち、巨大な念珠を、のべ60数名で光明真言を唱えながら回す「百万遍念珠の会」も執り行い、1424回のお念仏をいたしました。裏方みんなで手作りのちらし寿司やごま豆腐などをお接待。ただ…ご用意していた「おはぎ」の存在に気付いたのが、皆様がお帰りになった後…。ご参拝の皆様、ごめんなさい。お渡しそこねたおはぎは、皆やご近所様にお裾分けしました。



**皆様のお声をお聞かせください**

「数々修習」創刊号、いかがでしたでしょうか。内容のご感想やご要望など、お聞かせください。また紙面でご紹介できるエピソードや、お子さん、お孫さんのお写真などございましたらお気軽にお送りください。お待ちしております。

〒860-0811 熊本市中央区本荘6-15-50  
本蔵院「数々修習」編集室宛  
◆ファックス 096-364-9570  
◆メール info@honzouin.or.jp

発行元 本蔵院「数々修習」編集室  
(担当/宮本ゆりこ)  
〒860-0811 熊本市中央区本荘6-15-50  
TEL 096-364-4848 / FAX 096-364-9570

## 年間三回しかない絶好の機会 内拝を行う、 五月の大祭にぜひお越しください

不動様のご縁日となる、二十八日の月例護摩祈願。毎月、この日は密教寺院ならではの祈願法要を執り行います。願い事と名前を書いた「護摩木」と呼ばれる木の板を、導師が一本一本祈念して焚き上げます。燃えさかる炎と、あたりに漂う香。その中で、太鼓の音と読経が響き渡る、神秘のお不動様の世界は、迫力満点です。

次回、五月二十八日(土)は大祭にあたり、参拝者が、自らの手で護摩木をお不動様の智火(ちか)に投じていただく「内拝」も行います。参拝者全員が順に護摩木をいただき、直接投入していただきます。燃え上がる火と熱を前にすると、身も心も引き締まる思いがします。内拝は、一月、五月、九月と年間三回しかない絶好の機会。まだ体験されたことのない方は、ぜひご参加ください。

また、祈願後には、坊守さん手作りのお赤飯や精進料理のお接待をご用意しております。どうぞお楽しみに! なお、祈願の申し込み用紙を同封しておりますので、お気軽にお申し込みください。

◆五月の護摩祈願大祭のご案内  
五月二十八日(土) 十三時  
本蔵院本堂にて

※参加申し込みは不要ですが、祈願を申し込まれる方は事前に、申し込み用紙をファックスか郵送でお届けください。当日の受付も可能ですが、込み合いますので早めのご来院を。

※駐車場が少なく、皆様にはご迷惑をおかけしております。近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関のご利用をお願いいたします。



## STAR FESTIVAL CONCERT 第2回 家族で楽しむ たなばたコンサート

今年もやります! 昨年にも初めて行われ、好評を博したたなばたコンサート。今年もパワーアップして開催することが決定! 前回同様、二十世住職が、自慢ののどを響かせます。今年はどうな歌が登場するかどうかどうぞ楽しみに! もちろん、百万遍念珠会も同時開催いたします。また、今回は新たなゲスト「寿咲亜似(すさきあい)さん」をお呼びしています。熊本弁での物語を語っていただく予定です。コンサート終了後は、アイスクリームやおまんじゅうを食べたり、七夕の飾り付けをします。家族そろって楽しめるコンサートです。

**寿咲 亜似(すさき あい)さん**  
肥後の歴史物語と民話の会「語り座」代表として、熊本弁での民話語りや歴史物語の執筆、文学作品の朗読、ラジオ番組の企画出演など多方面で活躍中!



今年も七夕の飾り付けを行います!

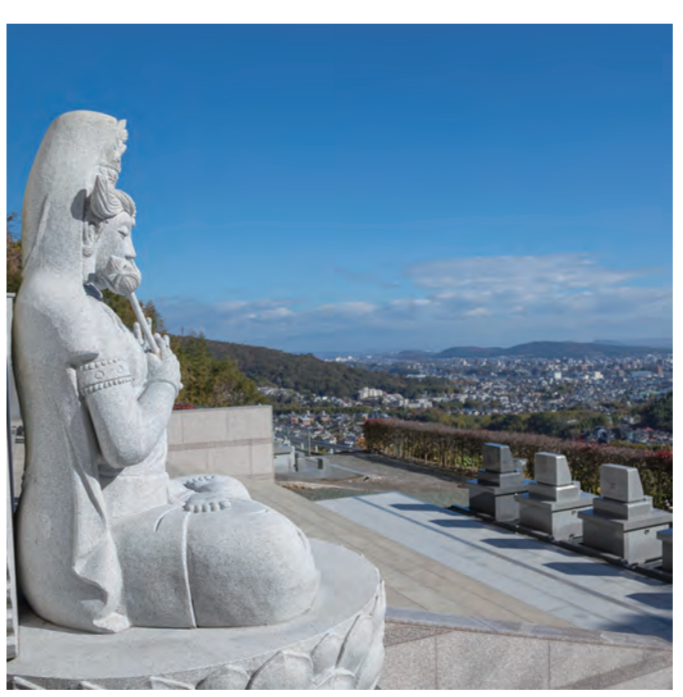


7月3日(日) 10:30~ 本蔵院本堂にて  
参加料: 700円  
※中学生以下は無料となります。  
※近隣のコインパーキングをご利用いただくか公共交通機関のご利用をお願いいたします。

## 「永遠」の安心をお約束します 菩提樹苑の 永代供養墓

代とともに変わる「お墓」との付き合い方。先祖代々のお墓が故郷にあっても、子どもや孫世代が遠方に住み、お墓を守る人がいないというケースが多く見られます。

そのひとつの解決法として「永代供養墓」が挙げられます。お墓参りができない人の代わりに、寺院が責任を持ち永代にわたって供養と管理を行う新しい「供養の形」です。



菩提樹苑(ぼだいじゅえん)  
TEL 096-356-1962  
熊本市西区島崎5丁目927-6  
http://www.bodaijue.jp/eitai

担当の木村です! 永代供養墓のことならお任せください!



本蔵院が管理する霊園「菩提樹苑」での永代供養墓は、素晴らしい環境と立地が大きな特長。高台から熊本市内を見渡す「雲上観音」と、苑の中央に位置しシンボルとしても親しまれる「高崎観音」の二つの永代供養墓をご案内しています。

お寺が管理するからこそ、未来永劫の安心をお約束します。興味をお持ちの方はお気軽に菩提樹苑にご連絡ください。